

## <熊本支部例会事前抄録>

日時:2021年2月22日(火)19:30～

会場:ZOOMミーティング

- 一般講演抄録 1-

### 低侵襲審美修復治療を目指した一症例

陶山 新吾 陶山歯科医院 〒830-0023 福岡県久留米市中央町 11-9

#### ■抄録

修復治療を行う際に、MI (Minimal Intervention) を考慮し、健全歯質と歯髄の保存を図り最小限の治療介入にとどめることは、歯の寿命を延ばすことにつながる。

前歯部審美修復治療においては、MI や接着歯学の発展の観点から便宜形態の付与が必要ないダイレクトレストレーションや、色調再現性が高いポーセレンレストレーションが選択されるようになってきた。それぞれの特徴をもとに、患者の多種多様化する審美と低侵襲治療への要求に対して最善の治療オプションを選択していく必要がある。

今回、前歯部の審美障害を主訴に来院した 29 歳女性に対して、マイクロスコープを活用し根面被覆を行い、ポーセレンレストレーションにて低侵襲審美修復治療を行った症例を提示する。諸先生からのご指導を仰ぎたい。